



# KYOTO NATIONAL MUSEUM

2015 July to September vol.187

京都国立博物館

だより

二〇一五年  
七八・九月号

**製佛賦** 以存竟空觀無漏  
為理人第用讀  
第百一十  
覺玄門 消得法身名之曰妙得此法  
是名為覺二空真理名曰玄  
共實性離相寂然達法空真名之妙得  
此實性離相寂然達法空真名之妙得  
覺門示直



## 特別展観 第二〇〇回大蔵会記念 弘法東漸

### 東漸の典籍と美術

柔權之道多詐任機而現或以聲光勿之或以  
容致之法辟亂舉厥事相開以悟達為本  
言以唇登為意得但以去聖久遠時接統浮  
專實又詞卑會幽言所以大小諸聖悲大道  
覺取義有五過失誘佛經法誑人進信斯言  
極矣不量己之神府而輕探於成教用佛而  
每誠聖情愛於是由生墨乎法侶又可詳哉  
生非散材而反大智直庸情所構固當  
通其所滯悟其所迷不然則至聖於何起  
悲正士於何揚化事假緣於奉紀故不廢之  
續高僧傳卷第廿八 請讀

皇后藤原氏光明子奉為  
尊孝贈正一位大政大臣府君尊妣  
贈從一位攝氏太夫人敬寫一切經論  
及律註嚴既了伏願馭斯勝因奉資  
實助永庇菩提之樹長遊般若之  
津又願上奉 聖朝恒延福壽下  
及寮采共盡忠節又光明子自茲倍  
言和濟沉淪勤除煩障以窮諸法早  
契菩提乃至傳燈無窮流布天下  
開名持卷獲福消災一切迷方會歸  
覺路  
天曆十二年五月日記





国宝 法然上人絵伝 巻第九 (経供養の場面) 京都・知恩院



特別展観 第一〇〇回大蔵会記念

# 仏法東漸

ぶつぼうとうぜん

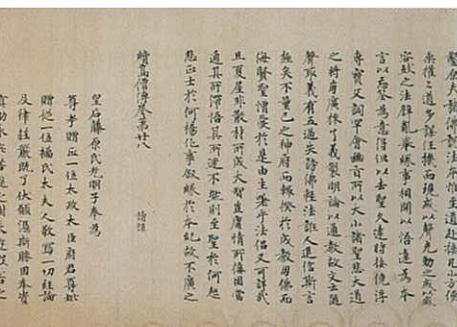
## 仏教の典籍と美術

平成27年7月29日(水)～9月6日(日)  
平成知新館(1F・2・3)

「大蔵会」はじめて聞く名前だという方も多いでしょう。大蔵会とは、仏教にかんする典籍を中心とした展覧事業であり、大正天皇の即位を記念し、大正三年(一九一四)十一月三日に東京で開催されたことにはじまります。その翌年、京都においても大蔵会が開催されました。当時の展覧目録をみると、十一月二十一日と二十二日の二日間、真宗大谷大学(現在の**大谷大学**)を会場に、「法華経」(重要文化財、雲龍院蔵)をはじめ四四一点にものぼる作品が展示されています。

さて、京都の大蔵会は、京都仏教各宗学校連合会が事業の主体となり、ここには現在、大学を中心し十六校が加盟しています。大正四年にはじまって以来、毎年開催され、今年は一〇〇回目という大きな節目を迎えることになりました。これを記念して、平成知新館の特別展示室・書跡展示室のほか、染織展示室・金工展示室・漆工展示室の五部室を会場に大規模な展覧を開催いたします。構成は大きく、

第一部 釈尊の教え(1F・2・3)  
第二部 教えのひろがり(1F・4・5・6)  
にわかれ、国宝十二点、重要文化財三十四点、重要美術品四点をふくむ、およそ一〇〇点を展示いたします。



御願経・五月一日経 巻末 京都国立博物館(守屋コレクション)



重要文化財 御製仏賦 巻首 南禅寺一切経のうち 京都・南禅寺

平成知新館  
名品ギャラリー

※マークは特別展観関連展示です。

3F-1 陶磁

【中国陶磁】

3月17日(火)～9月6日(日) ※9月8日(火)より閉室

3F-2 考古

【土器と陶磁器―出土品から―】

6月30日(火)～9月6日(日) ※9月8日(火)より閉室

2F-1 絵巻

【狩野派と絵巻】

6月9日(火)～7月5日(日)

※【高僧伝―始祖を慕う―】

7月7日(火)～8月9日(日)

始祖が成しえた数々の業績は、その宗派に属する信徒にとつて、信仰心や帰属意識を満たすことのできる魅力的な物語ともいえるでしょう。教団の組織化が進んだ鎌倉時代後期には、法脈を主張し、結束を固めるためにも、始祖の活躍を描いた高僧伝絵が盛んに制作されました。その転写や改訂は、後の時代までしばしば行われます。今回は、真言宗の空海、時宗の一遍、日蓮宗の日蓮、それぞれの伝記を物語る室町時代の作品をご紹介します。7月29日より始まる特別展観「**仏法東漸**」とあわせて、法脈とともに受け継がれてきた始祖への思いを感じてみてください。

※【御仏の救済―地獄と浄土―】

8月11日(火)～9月13日(日)

2F-2 仏画

【山水屏風―王朝文化の余香―】

6月9日(火)～7月5日(日)

【日本の羅漢図】

7月7日(火)～8月9日(日)

※【京都諸本山の名宝】

8月11日(火)～9月13日(日)

2F-3 中世絵画





正(坂東本) 親鸞筆 真宗大谷派



重要文化財 文殊師利問菩提經 巻首 京都国立博物館



る、仏教經典の總集である「大藏經(一切經)」についての展示です。大藏經の書写は、莫大な材料、時間と人員を必要する一大事業です。にもかかわらず、日本では奈良時代以降、相当な数が作られ、あるいは海外からもたらされました。まさしく、仏の教えがインドから中国、朝鮮半島を経て日本に伝わり、重んじられたこと、すなわち「仏法東漸」の証といえるでしょう。ここでは、わが国屈指の古写經コレクシオンとして有名な「守屋コレクシオン」を中心に、中国・朝鮮半島、および日本で作られた大藏經とその流れを紹介いたします。

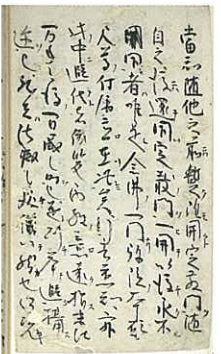
つづく第二部は、日本に伝えられた仏の教えがどのような広がりをもったのか、なかでも仏教各宗派の宗祖についての展示です。とくに、さきの十六校の性格にかんがみ、天台宗、真言宗、浄土宗、浄土真宗、臨済宗を中心に、各宗派の宗祖に関連する書跡のみならず、それぞれの特徴的な絵画や工芸品もあわせて紹介し、その足跡をたどります。このように横断的な展示は、大藏會の長い歴史のなかでもはじめての試みであり、まさしく一〇〇回の記念にふさわしいものといえるでしょう。

日本仏教の歴史を通過的、かつ立体的に見ることができる新たな機会となりますので、二階絵画各室の関連展示とあわせ、是非とも多くの方にご覧いただきたく思います。

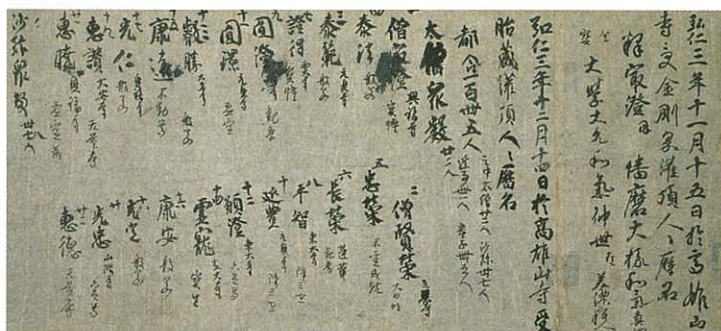
(羽田 聡)



蹟「関山」道号 京都・妙心寺



根本願念仏集 京都・廬山寺



国宝 灌頂歴名 空海筆 部分 京都・神護寺



重要文化財 続高僧伝巻第二十八(光明)

【東福寺の絵師―明兆と良全―】  
6月9日(火)〜7月5日(日)

【個性の画家・雪村】  
7月7日(火)〜8月9日(日)

雪村(一五〇四?〜?)は法諱を周繼という画僧で、常陸国(現在の茨城県)を治めていた佐竹氏の出身。若くして出家し、会津・鎌倉・小田原などを遍歴したのち、三春(現在の福島県)の地に隠棲しました。雪舟に私淑するがたわら、中国画なども広く学び、室町画壇にあつては最も個性的な画風を打ち立てたことが知られます。極端にゆがめられた景物の形や独特の空間構成など、雪村芸術の粋をご堪能ください。



琴高・群仙図のうち琴高仙人 雪村筆 京都国立博物館

【禅僧の肖像画―頂相―】  
8月11日(火)〜9月13日(日)

2F-4 近世絵画

【大陸からの新風―南蘋風と洋風画―】  
6月9日(火)〜7月5日(日)

【龍虎―仏法の守護神―】  
7月7日(火)〜8月9日(日)



重要文化財 雲龍図屏風 部分 円山応挙筆

【京都諸本山の近世絵画】  
8月11日(火)〜9月13日(日)

2F-5 中国絵画

【明清の人物画】  
6月9日(火)〜7月5日(日)

【中国の羅漢図】  
7月7日(火)〜8月9日(日)





国宝 阿弥陀二十五菩薩来迎图（早來迎） 京都・知恩院

【観覧料】

一般 520円（410円）  
 大学生 260円（210円）  
 高校生以下および満18歳未満、満70歳以上無料  
 ＊（一）内の料金は団体20名以上  
 ＊展示期間中、作品保護のため展示替えを行います。



国宝 教行信



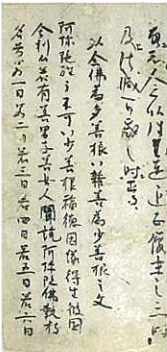
重要文化財 六代祖師像のうち 西礪子曇贇 京都・妙心寺



神護寺経経帙 京都国立博物館



国宝 宗峰妙超



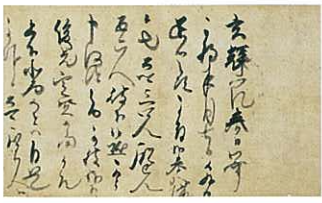
重要文化財



【京都諸本山の中国仏画】  
 8月11日(火)～9月13日(日)  
 1F-1 彫刻  
 【日本とアジアの彫刻】  
 【小金銅仏】  
 6月30日(火)～9月13日(日)  
 1F-2 特別展示室  
 【日本の仮面―人と神仏、鬼の多彩な表情―】  
 6月9日(火)～7月20日(月・祝)  
 【仏法東漸―仏教の典籍と美術―】  
 7月29日(水)～9月13日(日)  
 1F-3 書跡  
 【故人を偲ぶ―消息経―】  
 6月16日(火)～7月20日(月・祝)  
 故人を供養するには、いろいろな方法があります。なかでも、生前に送られた消息などを用いて、経典を書写、ないしは摺写したものは「消息経」とよばれています。こうした行方は、平安時代にはじまったと考えられ、とくに中世には数多くの経典が作られました。ここでは、現存する遺品のうち、天皇ある



国宝 十六羅漢像のうち 京都・清凉寺



都国立博物館



# 【御仏の救済】

## —地獄と浄土—

8月11日(火)～9月13日(日)

2F-1 絵巻

地獄と浄土は、いつの時代も日本人の深い関心の的であり続けました。とくに、罪業の意識に悩まされる人々にとって、地獄に対する恐怖は、現代では考えられないほど切実なものであったことでしょう。そのため、地獄に往来し亡者でさえも救済する地蔵菩薩や、罪障を滅する光明真言への信仰が高まり、それらによって救済が果たされる話も多く語られました。盆や地蔵盆の季節にあわせて、特別展観「仏法東漸」とともに、経典に説かれた苦悩と安楽の世界をお楽しみください。



重要文化財 法華経絵巻残開 部分 京都国立博物館

# 【京都諸本山の近世絵画】

8月11日(火)～9月13日(日)

2F-4 近世絵画

京都には、日本の仏教各宗派の総本山・大本山が数多く所在します。こうした寺院にはいまなお豊富な文化財が伝えられ、その内部を荘厳する絵画のなかには美術史上欠くことのできない重要作品も数多く含まれています。

宗教的空間を整える必要から制作されたもの、寄進等によってもたらされたものなどに画家のバトロンとして、またときには作品を守り伝えるシエルターとして機能しました。幾多の戦乱や災害といった、作品がぐくり抜けしてきた困難な歴史にも思いを馳せてみてください。

# 【京都諸本山の中国仏画】

8月11日(火)～9月13日(日)

2F-6 中国絵画

中国にインド発祥の仏教が伝来したのは紀元後一世紀ごろとされ、釈迦如来をはじめとする尊格をさまざまな図像で表すようになりました。シルクロードの敦煌に描かれた唐時代の壁画はその代表例です。宋時代には精緻を極めた描写にきらびやかな色彩をもつ華麗な仏画が描かれた一方で、続く元時代には超越性を表した怪異的な表現も生み出されました。中世以降の日本にも、貿易港の浙江省の寧波を通じて数多くもたらされています。この展示室では、特別展観「仏法東漸」にちなみ、京都の寺院に伝わる中国の仏画を展示いたします。



重要文化財 童子経曼荼羅図 智積院

名品ギャラリー2Fの絵画展示室では、特別展観「仏法東漸」にちなんだ展示を行っています。各展示をご紹介します。



重要文化財 普賢菩薩像 伝馬麟筆 京都・妙心寺



重要文化財 蘭亭曲水図屏風 八曲一雙のうち 狩野山雪筆 京都・随心院

鐘貴を目的としたものではないかもしれませんが、造形的な「書」としてすばらしいのはもちろん、会期中、旧暦における盂蘭盆(七月十五日)をはさむことから、このような展示を企画いたしました。

# 【仏法東漸 仏教の典籍と美術】

7月29日(水)～9月13日(日)

1F-4 染織

# 【夏のきもの―単衣と帷子―】

6月10日(水)～7月20日(月・祝)

# 【仏法東漸 仏教の典籍と美術】

7月29日(水)～9月13日(日)

1F-5 金工

# 【室町時代の金工】

5月26日(火)～7月20日(月・祝)

室町時代は今日まで続く日本の文化の揺籃期とも言えます。平安時代にみよこで生まれた公家の文化と、鎌倉時代に東国で生まれた武家の文化を融合させ、ここに大陸の最先端を加えた室町文化は、鎌倉幕府の滅亡から南北朝の動乱期を経て、室町幕府の安定期、政争渦巻くみやこの騒乱と群雄割拠の戦国時代へ続く二四〇年の間に育まれました。この展示では、北山文化・東山文化に代表される中央の上流文化のみならず、京都の荒廃を期に各地へ伝播した地方文化を含めて室町時代の金属工芸作品を紹介いたします。



重要文化財 縹糸威胴丸・兜 京都国立博物館

# 【仏法東漸 仏教の典籍と美術】

7月29日(水)～9月13日(日)

1F-6 漆工

# 【文房具】

6月2日(火)～7月20日(月・祝)

# 【仏法東漸 仏教の典籍と美術】

7月29日(水)～9月13日(日)

※9月14日(月)～10月9日(金)の間は、展示準備等のため、全館休館となります。



重要文化財 後深草天皇宸



特別展覧会

琳派誕生四〇〇年記念

# 琳派——京を彩る

みやこ

10月10日(土)～11月23日(月・祝)

平成知新館

二〇一五年は、琳派誕生四百年、光琳没後三百年。それぞれを記念し、各地でさまざまな切り口の琳派展が開催されています。京都国立博物館の琳派展は、江戸時代の琳派継承を網羅する、まさに王道の琳派展。そして、琳派誕生の地・京都で、初めて開催される本格的な琳派展です。

琳派とは、江戸時代に活躍した俵屋宗達・尾形光琳・酒井抱一という、三人の絵師によつて代表される流派です。その表現の特質は、純日本的、装飾的あるいは意匠的と評されます。しかしながら、この流派名は、光琳の名の一部をとつて近代の研究者が名づけたもの。実は彼らに直接の師弟関係はありません。光琳は宗達を、抱一は光琳を、それぞれ発見し私淑することにより、自ら琳派の流れに加わつたのです。名高い絵師たちによる絵画ばかりが目立されがちな琳派ですが、その芸術は、広く工芸にも及びます。琳派が本質的に共有するのは、暮らしを飾ろうとする美意識。このような琳派の骨格を作り上げたのが、書家であり漆芸や陶芸にも関わつた本阿弥光悦でした。琳派誕生四百年を記念する本展の核となるのは、琳派の源泉となつた二人の芸術家、光悦と宗達です。刀剣の手入れや鑑定を生業とする京の上層町衆に生まれた光悦のさまざまな芸術への関与、そして履歴がほとんど知られず謎の絵師とも称される宗達とその工房の画業を丁寧に紹介します。

それに続いて、同じく京の上層町衆、呉服商雁金屋に生まれた芸術家兄弟、光琳と乾山について、それぞれの手になる名作の数々を披露するとともに、当館が所蔵する尾形光琳関係資料を織り交ぜ、両者の人物像や光琳の制作背景へと迫ります。



国宝 風神雷神図屏風 俵屋宗達筆 京都・建仁寺 (全期間展示)



重要文化財 風神雷神図屏風 尾形光琳筆 東京国立博物館 (10月10日～11月8日展示)



風神雷神図屏風 酒井抱一筆 出光美術館 (10月27日～11月23日展示)



重要文化財 梅樹下草文様小袖 抱一画 国立歴史民俗博物館 (10月10日～11月1日展示) 抱一の描繪小袖。因州池田家伝来。



岐します。そこへ加わったのが酒井抱一です。姫路藩主酒井家の次男という特権的な身分にあつた抱一は、琳派に傾倒し、作画を行うだけでなく、光琳百年忌を催すなど光琳の顕彰と研究を行い、現在の琳派研究の礎を築きました。

王城の地で育まれた美術工芸の水脈が、時と人を得て湧き出し、心を寄せる人々によつて発見され守り継がれる——その流れこそが琳派です。京都国立博物館の目の前には宗達の描く障壁画が堂内を飾る養源院、洛中に足を伸ばせば光琳・乾山兄弟の墓所がある妙顕寺、そして洛北には琳派四百年の契機となつた光悦拝領の地、鷹峯が所在します。京都で琳派に出会うことは、琳派の水脈が湧き出した時代や風景を濃密に体感することではないでしょうか。

(山川 暁)



重要文化財 夏秋草図屏風 酒井抱一筆 東京国立博物館 (10月10日～10月25日、11月10日～11月23日展示)  
光琳の「風雷神神図屏風」によせて抱一が裏に描きました。



重要文化財 鳥獸写生図巻 部分 尾形光琳筆  
尾形光琳関係資料のうち 京都国立博物館 (全期間展示)  
画稿や手紙など、およそ五百点にも及ぶ資料群のうちの一巻。光琳の制作の背景を教えてください。



国宝 舟橋時絵硯箱 本阿弥光悦作  
東京国立博物館 (10月10日～11月1日展示)  
高く盛り上がった蓋が前例のない個性的な姿の硯箱。  
光悦時絵の代表作。



国宝 八橋時絵螺鈿硯箱 尾形光琳作  
東京国立博物館 (11月3日～11月23日展示)  
『伊勢物語』を主題とした、光琳時絵の代表作。

よみもの

## 舶来好き日本人

京都国立博物館研究員  
降矢哲男

高度経済成長期以降、海外の企業名や地域名が付けられた、いわゆるブランド品を日本人がこぞって買求めた。バブル景気崩壊後、不況が長引き、買い物を控えようとしていた時期でさえもそうした傾向はあった。日常品のように打撃的な影響を受けることなく、日本では海外のブランド品が常に売れ続けてきたのである。もちろん、その品質やデザイン性を好んで購入し、長年愛用する人もいるが、概ね多くの日本人は単にブランド志向によって、舶来品を手に入れようとしているように思える。

こうした海外の舶来品にある種の憧れをいだくことは、実は、近年に始まったことではない。古くは奈良時代にシルクロードを通じて中国、インド、西アジアなどから運ばれた正倉院宝物などもそうである。それらは、七世紀から九世紀にかけて中国・唐に送られた使節である遣唐使や中国からの渡来僧らによって、唐の文化や制度などとともにもたらされた多くの文物であり、当時の最先端トレンドを持ちこんでいたといえる。その後も平安時代から鎌倉時代にかけての日宋貿易、室町時代の日明貿易、そして、南蛮貿易、長崎貿易と何れの時代も舶来品を求めて活発な交易が行われている。舶来品は強い憧れを持って交易でもたらされ、古来より主に中国を中心に輸入されたものであることから、「唐物」と総称されている。

室町時代になると、唐物を蒐集、賞玩するだけでなく、美術品としての価値判断がなされるようになる。そこに大きく関わったのが室町將軍家に仕え、芸能や殿中での雑役などを担った同朋衆である。彼らは、將軍家にもたらされた唐物を鑑定し、種類ごとに分類し、等級付けを行なっており、そうした規定を「君台観左右帳記」にまとめている。その中でやきものは、大きく「茶碗物」、「土之物」に区分され、前者には青磁や白磁などの磁器が入り、後者には各種の天目が入られている。また、「土之物」の中でも、耀変、油滴、建盞などと順序があり、唐物に対して明確な価値観を持つていたことがうかがえるよう。

何れの時代も当時の最先端の文化に憧れて舶来品を持ち込み、それを珍重することに変わらぬ。一方で、古代以降、ただそれを持ちこむだけでなく、積極的に和様化して日本のものとして取り入れている。例えば肥前磁器のように、世界で「伊万里」として広く知られるようなものも生み出し、舶来品をも凌いできた。

日本人は、様々な舶来品に対して明確な価値観を持ちつつ、その好みに合わせて変容させてきた。それらと和様化したものも「唐物」と呼び、これらも舶来品と同様に珍重してきた。こうした点からみても、私たちは、ねっからの舶来品好きといえるだろう。



## 土曜講座

7月4日「日本で好まれた中国漆器」

京都国立博物館主任研究員 永島明子

7月11日「仁清と乾山 立体絵画への挑戦」

京都国立博物館副館長 伊藤嘉章

7月18日「新出の法華経文和歌懐紙」

京都国立博物館主任研究員 羽田 聡

7月25日「羅漢図像の伝播 中国から日本へ」

京都国立博物館研究員 吳孟晋

8月8日「京都大蔵会—その意義と役割—」\*

佛教学文学部教授 松永知海氏

9月5日「仏法東漸の道のり—大蔵経の成立と変遷—」\*

花園大学文学部教授 中尾良信氏

\*…特別展観「仏法東漸」関連講座

※平成知新館 講堂にて、午後1時30分～3時に開催。定員200名、聴講無料（ただし観覧券等が必要）。

※当日12時より、平成知新館1階にて整理券を配布します。先着順、定員になり次第、配布を終了します。

## イベント

《第14回少年少女博物館くらぶ「ドキドキ！刀にふれてみよう」》

日 時 7月19日(日) 7月20日(月・祝)

10時30分から12時00分まで、両日とも内容は同じです

会 場 平成知新館 講堂(地下1階)

参加料 無料(ただし、保護者の方は観覧券が必要)

定 員 両日とも子ども20名まで、小学4年生から中学生対象

参加方法 「参加者氏名・学年・参加希望日」と「保護者の住所・氏名・電話番号」を明記の上、メールにて kyoiku@kyohaku.go.jp までお申し込みください(申し込み期間:6月20日～7月18日、先着順)。

※刃をおとしているので、けがの心配はありません。

《京都・らくご博物館 夏》

日 時 平成27年8月2日(日) 13:00 開場 13:30 開演

会 場 平成知新館 講堂(地下1階)

出 演 桂鞠輔 桂米紫 桂千朝 中入 笑福亭晃瓶 桂雀三郎

入場料 3100円/キャンパスメンバーズ2500円

(全席指定・平成知新館 名品ギャラリー観覧券付)

※チケットご希望の方はお電話、またはWEBよりお申し込みください。

申し込み先:お電話/博物館事業推進係 075-531-7504(月～金の10～12時・13～17時に受付 \*祝日は除く) WEB/ <http://www.kyohaku.go.jp> らくご博物館【夏】申し込み画面

《平成知新館開館1周年記念

響の都オペラフェスティバル 2015 日伊共同制作オペラ『道化師』》

日 時 平成27年9月13日(日) 18:00 開演予定

会 場 京都国立博物館 明治古都館前特設ステージ

※日本にオペラ文化を広げ、多くの方と一緒に育てていく文化事業です。そのため、公演チケットについては一般販売を行わず、当事業にご協賛金を拠出いただいた方を当日のオペラ公演へご招待する形式です。詳しくはさわかみオペラ芸術振興財団ホームページ ([https://ssl.sawakami-opera.org/booking/kyoto\\_0913](https://ssl.sawakami-opera.org/booking/kyoto_0913)) をご参照ください。

## これからの展覧会

◆特別展 琳派誕生400年記念 琳派 京を彩る

2015年10月10日(土)～11月23日(月・祝)

◆特集陳列 獅子と狛犬

2016年1月2日(土)～2月21日(日)

◆特集陳列 雛まつりと人形

2016年2月27日(土)～3月21日(月・祝)

## 国立博物館の展覧会

【東京国立博物館】

特別展「クレオパトラとエジプトの王妃展」

7月11日(土)～9月23日(水・祝)

【奈良国立博物館】

開館120周年記念特別展

「白鳳—花ひらく仏教美術—」

7月18日(土)～9月23日(水・祝)

【九州国立博物館】

開館10周年記念特別展

「大英博物館展 100のモノが語る世界の歴史」

7月14日(火)～9月6日(日)

## ◆明治古都館休館のお知らせ◆

京都国立博物館では、今年度より埋蔵文化財の発掘調査を行うことになりました。そのため、平成27年6月7日(日)より、明治古都館を当分の間休館いたします。

これまで平成知新館での「名品ギャラリー」、特別展覧会を開催する「明治古都館」と二つの展示をお楽しみいただきました。今後は、明治古都館の休館にともない、平成知新館にて特別展覧会を開催いたします。

特別展覧会の前後には展示準備等のため、全館休館もしくは名品ギャラリーの部分開館となりますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【今後の部分開館および全館休館の予定】

【部分開館】7月22日(水)～7月28日(火)

1F彫刻展示室および2F・3F各展示室(1F～2～6は閉室)

【部分開館】9月8日(火)～9月13日(日)

1F彫刻展示室および2F 絵画各展示室(3F・1F～2～6は閉室)

【全館休館】9月14日(月)～10月9日(金)

## ご利用案内

【開館時間】9:30～17:00

\*入館は開館の30分前まで

【観覧料】一般520円(410円) 大学生260円(210円)

\*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料です(年齢のわかるものをご提示ください)。

\*( )内は団体20名以上

\*特別展覧会については、別料金となります。

【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)

9月14日(月)～10月9日(金)

## アクセス

JR＝京都駅下車、市バスD2のりばより206・208号系統、D1のりばより100号系統にて博物館・三十三間堂前下車すぐ  
プリンセスラインバス京都駅八条口のりばより京都女子大学前行にて東山七条下車、徒歩1分

近鉄電車＝丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から出町柳方面行にて七条駅下車、東へ徒歩7分

京阪電車＝七条駅下車、東へ徒歩7分

阪急電車＝河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行きにて七条駅下車、東へ徒歩7分

駐車場は有料となっております。ご来館の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

\*「博物館だより」を郵送ご希望の方は、返信用封筒(角2封筒は120円、長3封筒は92円切手貼付、宛名明記)を同封して、当館企画室までお申し込みください。



〒605-0931 京都市東山区茶屋町 527

TEL. 075-525-2473 (テレホンサービス)

ホームページ <http://www.kyohaku.go.jp/>

発行日 2015年7月1日 デザイン 谷なつ子

編集・発行 京都国立博物館 印刷 野崎印刷紙業株式会社

京都国立博物館  
KYOTO NATIONAL MUSEUM